



東京都立多摩桜の丘学園学校だより

さくらちゃんNews



令和6年3月8日発行第13号
多摩市聖ヶ丘1-17-1
電話 042-374-8111
発行者 統括校長 丹野 哲也

卒業式を迎え

校長 丹野 哲也

卒業式や修了式まで、授業日が残り少なくなってきました。卒業学年では、卒業式に向けて、準備を着々と進めています。

先月末に開催した第3回学校運営連絡協議会では、外部委員の方々に授業の様子を御見学いただきました。その際、Ⅱ部門小学部6年生が、証書授与の際の立ち位置、呼名への返事の仕方、証書の受け取り方など、一つ一つの動作を先生と確認しながら練習していました。その様子を見学した外部委員の方は、「日々の学習を積み重ねて子供たちが卒業式を迎えるのですね」と、6年生の子供たちが集中して学習に取り組んでいる様子に驚かれていました。

「継続は力なり」という言葉があります。これには、2つの意味があるといわれます。1つには、「継続」することが、将来の「力」になるということ。2つには、「継続する」こと自体が「その人の力」であるという意味とのことです。本校の教育活動の中では、何かを続けることができること、あるいは、続けようとする意図や意思を育むことを大切にしています。卒業式、卒業学年の保護者の皆様におかれましては、お子様の積み上げてきた力を発揮する立派な姿を楽しみにしていただきます。



高等部卒業生の作品展示



○ユネスコスクールにエントリーしました！！

本校は、いままで各学部で積み重ねてきた「地域と連携した教育活動」を元に、「ユネスコスクール」加盟にチャレンジします。ユネスコスクールとは、国連におけるユネスコ憲章に示された理念を実現する学校であり、ESD（持続可能な社会の創り手を育むため教育）を推進していく学校です。本校のある多摩市の公立26校全ての小・中学校がユネスコスクールに加盟しており、バリアフリーな社会、多様性や国際理解など、児童・生徒の問題意識や興味関心等を踏まえて、各校の主体的・創造的な取組が進められているところです。本校も、ユネスコスクールに加盟することで、地域の小・中学校と、ESDという共通の理念・言葉での交流活動がますます充実していくことが期待できます。私たちの身近におきている事象のみならず、海外や地球規模で考えていかななくてはならない、深刻な問題などについても、子供たちの発達段階に即して、「自分のこと」として、考えていくことのできるよう、子供たちの資質・能力を育ててまいります。御参考ですが、国内のユネスコスクールの学校数は1,115校です。その多くが小・中・高等学校となります。一方で、特別支援学校においては13校しかなく、都立特別支援学校では最初の試みとなります。

